

静岡県

技能実習 静岡県 ニュース

マイナカード 申請会場提供 静岡・由比のいなば食品

2022.12.15

いなば食品（稲葉敦央社長）は政府が進めるマイナンバーカードの普及のため、静岡市清水区由比北田の同社工場の食堂を申請会場として提供している。ボランティアの行政書士約10人が工場の従業員に加え、家族や地域住民の申請手続きもサポートしている。

会場の提供は11日から始め、作業服姿の従業員らが仕事の合間に申請した。担当者によると、高齢の派遣社員や外国人の技能実習生が工場働いていて、由比地区に行政窓口がないためこうした取り組みを決めた。対応する西村光二行政書士（66）は「初日に申請した68人のうち40人は中国人の技能実習生だった。少しでも役に立てれば」と話す。

県によると、企業の申請会場で地域住民を受け入れる例は珍しいという。申請は19、22の両日も各日午後2～6時に受け付ける。



マイナンバーカードの申請を行う工場従業員ら＝静岡市清水区由比北田のいなば食品工場食堂

富士市主催・外国人雇用企業向け講座 「外国人従業員が輝けば、企業が元気になる」

2023/2/26

- ・ 株式会社Roadコンサルティングによる外国人雇用企業向け講座実施報告
- ・ 2023年2月16日に外国人雇用に関心のある企業の経営者、人事担当者向けに開催



【ホームページより一部抜粋】

本事業実施の背景としましては、全国的に製造・建設・介護・農業等の現場における労働力不足が深刻化する中、富士市でも外国人の雇用を検討する企業が急増している点にあります。この流れを捉えて、富士市（市民活躍・男女共同参画課）では、外国人を雇用している、または雇用を検討している企業様向けの講座を企画することになり、当社がお手伝いを担わせて頂く運びとなりました。

この講座では、今後の経営を取り巻く環境を理解した上で、地域企業が外国人雇用にチャレンジする必要性、雇用する際に注意すべきこと、外国人と力を合わせるためのコツ等についてお伝えをさせて頂きました。その一部をこちらのレポートでご紹介させていただきます。

<https://road-consulting.jp/information/1551/>

富士山メソッド・プロジェクトがスタート！

📅 2022.08.11 📁 お知らせ 🇯🇵 外国人支援

富士山メソッド・プロジェクトをスタートさせて頂きました。
本事業の企画は、多くの関係者のご協力のもと、約3年前から着
手は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて大幅に遅れて
と大変有難く感じております。

社会保険労務士事務所との連携

- 巡回サービス
- 日本語教室
- レクリエーション

富士山の麓でみんなが幸せになる！

富士市で働く外国人を応援！

富士山メソッドプロジェクト



これからの日本は少子高齢化が進み、深刻な労働力不足に陥ることが懸念されています。
特に、若年層が首都圏に流出してしまう地方企業の人材不足は深刻であり、喫緊の課題とな
っています。

その課題を解決する、現場業務の担い手として、若く向上心溢れる外国人労働者を受け入れ
る企業が増加しています。2019年4月には特定技能制度が導入されたこともあり、企業活動
を支える外国人労働者の数は大幅に増えると予想されています。

本プロジェクトは「富士山の麓でみんなが幸せになる！」をスローガンとし、働く人・企
業・地域が三方良しになれる仕組みづくりに本気で挑んでいます。

詳しくはこちら

11/27 2022 やいづ ふっとさる かっぷ

2022.12.18

11月27日（日）、ホームタウン焼津市の藤枝MYFCフットサル場にて、焼津市内の企業で働く外国人（技能実習生）を対象としたフットサル大会「やいづ ふっとさる かっぷ」を開催。

昨今のコロナ禍の影響により職場や地域でのコミュニケーションの場が減少、日本の生活習慣になかなか慣れられない等の課題も明らかになるなか、藤枝MYFCでは課題解決に向け サッカーの力で技能実習生の生活を豊かにすることをテーマにこの取り組みを開始しました。

「日本に来て良かった」と思っていただけのイベントを企画することで地元企業の価値、ひいては焼津市・ホームタウン地域全体の価値の向上にも繋げられればと考えています。

技能実習生の新たな余暇の過ごし方を提案するだけでなく、クラブを軸に企業間の交流を図ることも目的とし、この度初めて開催されました。



<https://myfc.co.jp/blogs/20221208/1128761/>

ベトナム人会を発足しました。

2022.12.10

2022年12月10日に当社のベトナム人従業員のコミュニティとなる「ベトナム人会」を発足しました。

同会は、「日本とベトナムの相互理解、橋渡しとなる活動を通じて、社員同士の交流の場とするため」に設立されました。

当社では、2017年から高度人材、2019年からは技能実習生の受け入れを進め、現在約20人程のベトナム人材が従事しています。



<https://www.nh-const.com/ベトナム人会を発足しました%E3%80%82/>

静岡県

技能実習 静岡県 ニュース

マイナカード 申請会場提供 静岡・由比のいなば食品

2022.12.15

いなば食品（稲葉敦央社長）は政府が進めるマイナンバーカードの普及のため、静岡市清水区由比北田の同社工場の食堂を申請会場として提供している。ボランティアの行政書士約10人が工場の従業員に加え、家族や地域住民の申請手続きもサポートしている。

会場の提供は11日から始め、作業服姿の従業員らが仕事の合間に申請した。担当者によると、高齢の派遣社員や外国人の技能実習生が工場で働いていて、由比地区に行政窓口がないためこうした取り組みを決めた。対応する西村光二行政書士（66）は「初日に申請した68人のうち40人は中国人の技能実習生だった。少しでも役に立てれば」と話す。

県によると、企業の申請会場で地域住民を受け入れる例は珍しいという。申請は19、22の両日も各日午後2～6時に受け付ける。



マイナンバーカードの申請を行う工場従業員ら＝静岡市清水区由比北田のいなば食品工場食堂

富士市主催・外国人雇用企業向け講座 「外国人従業員が輝けば、企業が元気になる」

2023/2/26

- ・ 株式会社Roadコンサルティングによる外国人雇用企業向け講座実施報告
- ・ 2023年2月16日に外国人雇用に関心のある企業の経営者、人事担当者向けに開催



【ホームページより一部抜粋】

本事業実施の背景としましては、全国的に製造・建設・介護・農業等の現場における労働力不足が深刻化する中、富士市でも外国人の雇用を検討する企業が急増している点にあります。この流れを捉えて、富士市（市民活躍・男女共同参画課）では、外国人を雇用している、または雇用を検討している企業様向けの講座を企画することになり、当社がお手伝いを担わせて頂く運びとなりました。この講座では、今後の経営を取り巻く環境を理解した上で、地域企業が外国人雇用にチャレンジする必要性、雇用する際に注意すべきこと、外国人と力を合わせるためのコツ等についてお伝えをさせて頂きました。その一部をこちらのレポートでご紹介させていただきます。

<https://road-consulting.jp/information/1551/>

富士山メソッド・プロジェクトがスタート！

📅 2022.08.11 📁 お知らせ 🇯🇵 外国人支援

富士山メソッド・プロジェクトをスタートさせて頂きました。
本事業の企画は、多くの関係者のご協力のもと、約3年前から着
手は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて大幅に遅れて
と大変有難く感じております。

社会保険労務士事務所との連携

- 巡回サービス
- 日本語教室
- レクリエーション

富士山の麓でみんなが幸せになる！

富士市で働く外国人を応援！

富士山メソッド"プロジェクト"



これからの日本は少子高齢化が進み、深刻な労働力不足に陥ることが懸念されています。
特に、若年層が首都圏に流出してしまう地方企業の人材不足は深刻であり、喫緊の課題とな
っています。

その課題を解決する、現場業務の担い手として、若く向上心溢れる外国人労働者を受け入れ
る企業が増加しています。2019年4月には特定技能制度が導入されたこともあり、企業活動
を支える外国人労働者の数は大幅に増えると予想されています。

本プロジェクトは「富士山の麓でみんなが幸せになる！」をスローガンとし、働く人・企
業・地域が三方良しになれる仕組みづくりに本気で挑んでいます。

詳しくはこちら

11/27 2022 やいづ ふっとさる かっぷ

2022.12.18

11月27日（日）、ホームタウン焼津市の藤枝MYFCフットサル場にて、焼津市内の企業で働く外国人（技能実習生）を対象としたフットサル大会「やいづ ふっとさる かっぷ」を開催。

昨今のコロナ禍の影響により職場や地域でのコミュニケーションの場が減少、日本の生活習慣になかなか慣れられない等の課題も明らかになるなか、藤枝MYFCでは課題解決に向け サッカーの力で技能実習生の生活を豊かにすることをテーマにこの取り組みを開始しました。

「日本に来て良かった」と思っていただけのイベントを企画することで地元企業の価値、ひいては焼津市・ホームタウン地域全体の価値の向上にも繋げられればと考えています。

技能実習生の新たな余暇の過ごし方を提案するだけでなく、クラブを軸に企業間の交流を図ることも目的とし、この度初めて開催されました。



<https://myfc.co.jp/blogs/20221208/1128761/>

ベトナム人会を発足しました。

2022.12.10

2022年12月10日に当社のベトナム人従業員のコミュニティとなる「ベトナム人会」を発足しました。

同会は、「日本とベトナムの相互理解、橋渡しとなる活動を通じて、社員同士の交流の場とするため」に設立されました。

当社では、2017年から高度人材、2019年からは技能実習生の受け入れを進め、現在約20人程のベトナム人材が従事しています。

ベトナム人会を発足しました。

2022.12.10 ニュース



静岡銀行がアサヒサンククリーン(株)と 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

2022.9.30

静岡銀行では、SDGs への取り組みの一環として、アサヒサンククリーン(株)と中小企業向けの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」契約を締結した。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資

➤ 静岡経済研究所が、静岡銀行から委託を受けて分析・評価を実施。

報告書の1項目に、外国人の活躍推進の取り組みとして技能実習生に関する記載あり。

(3) 外国人の活躍推進

【技能実習生】介護付き有料老人ホームで実習を行う。来日直後は生活に慣れるため、同時期に来日した研修生全員が本社で日本語の勉強や介護の基本的な研修を行い、その後、各地の施設にて実習を開始する。2022年以降来日する技能実習生に対し、先輩技能実習生とオンラインで事前交流会を実施。日本での生活の不安を和らげ、技能実習に集中できるようになるほか、技能実習生同士の親交が深まり、介護技術の共有が図られるため技能習得が促進されている。単なる労働力としてみるのではなく、日本人従業員同様、介護のプロフェッショナルとなり活躍してもらおうことを目指しており、介護福祉士などの国家資格の取得を支援している。介護は専門用語が多いため、日本語教育を手厚くするほか、翻訳機能が付いた学習教材システムの開発に着手するなど日本の介護技術を着実に学んでもらうための環境を整えている。



▲技能実習生同士によるオンライン交流会

静岡労働局

労働災害の現況（災害統計、参考資料）

令和4年における外国人労働者の災害発生状況 ※新型コロナウイルス感染症によるものを除く（確定値）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
死傷者数	217	234	① 271	① 242	301	② 317	① 323	306
うち、技能実習生）	(27)	(27)	(30)	① (37)	(65)	① (67)	(59)	(48)

<https://jsite.mhlw.go.jp/shizuoka-roudoukyoku/content/contents/001518565.pdf>

3 外国人労働者の労働災害の減少

目標

外国人労働者の死傷年千人率を2022年（令和4年）と比較して
2027年（令和9年）までに**減少させる**。

主要課題

- ・製造業に従事する外国人労働者の被災者数が多い。
- ・玉掛けやフォークリフト業務等において、必要な資格を取得せずに就業制限業務に従事する外国人労働者が散見される。



目標達成に向けた取組

- ・外国人労働者に分かりやすい方法による安全衛生教育や掲示等の「見える化」等の対策を講じるよう、厚生労働省ホームページや関係機関の作成する資料や視聴覚教材の活用を促す。
- ・関係機関と連携し、周知広報用資料の展開を行う。
- ・就業制限業務に従事する外国人労働者の資格取得を徹底させ無資格就労を撲滅させる。

<https://jsite.mhlw.go.jp/shizuoka-roudoukyoku/content/contents/001520762.pdf>

特定技能 静岡県 ニュース

→新しい記事はなし

そのほか

名称、所在地、診療科目などから、静岡県内の医療機関等や薬局を多言語で検索可能。

医療ネット しずおか

Web Page Translation

- English
- 中文
- Portugues
- 한국어
- Tiếng Việt
- Español
- Tagalog
- ภาษาไทย
- Bahasa Indonesia

トップページ | 医療機関・薬局を探す | その他の方法で探す | こども救急・電話相談 | はじめての方へ

キーワード検索

キーワード検索：（例：静岡市 アレルギー/浜松市 薬局/沼津市 人工透析 病院）

検索

今診でもらえる医療機関を探す

休日・夜間当番医を探す

小児科を探す

今、小児科が受診できる病院を検索できます。

自宅登録はこちら

GPSで現在地を取得

お探しの地域をクリック

はじめての方へ

医療ネットしずおかとは？

自宅を登録する

かかりつけ医

かかりつけ薬局

こども救急電話 #8000

又は054-247-9910

子供の急病対応ガイドブック

子供の救急（外部サイトへ）

47都道県に医療情報ネットがある。
医療機能情報提供制度（医療情報ネット）は、住民・患者による医療機関の適切な選択を支援することを目的として、平成18年の第五次医療法改正により導入。病院等に対し、医療機能に関する情報について都道府県知事への報告を義務づけるとともに、報告を受けた都道府県知事はその情報を住民・患者に対して提供する制度として運用している。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/teikyouseido/index.html

6県13市町と省庁が外国人住民との共生を探る集住都市会議 群馬・大泉

2023/1/29

外国人が多く住む6県13市町と中央省庁の担当者が課題や対策について話し合う「外国人集住都市会議おおいずみ2022」が27日、群馬県大泉町の洋泉興業大泉町文化むらで開かれ、オンラインを含め約200人が参加した。同町と伊勢崎市、太田市の群馬県自治体のほか、静岡県浜松市、長野県飯田市、岡山県総社市の首長が外国人住民に関する諸課題を国へ投げかけた。



外国人住民に関する諸課題を話し合った集住都市会議

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/234662>

福井県

技能実習 福井県 ニュース

介護人材確保へ県が現地で育成 タイ人の技能実習生受け入れ式

NHK 福井 NEWS WEB

2022/10/05



介護人材の確保につなげようと、タイで、県の研修を受けたタイ人の技能実習生が、県内の高齢者施設で働くことになり、5日、福井市で受け入れ式が行われた。

介護人材が全国的に不足する中、県と県社会福祉協議会は、タイの財団と連携して、現地で日本語や介護技能を学んだタイ人を、技能実習生として受け入れる取り組みを2年前から始めていて、5日はこの取り組みで、初めて県内の高齢者施設で働くことになった技能実習生8人の受け入れ式が行われました。この中で、杉本知事は「皆さんが福井の人として一緒になって社会を担っていけるよう環境を整えたい」と激励した。

◆ <https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukui/20221005/3050012663.html>

◆ 福井県のホームページ <https://www2.pref.fukui.lg.jp/press/view.php?cod=73fbD81664330345ba&whence=99>

別ニュースによる補足情報 <https://www.chunichi.co.jp/article/558240>

県と県社協は2020年、タイ人技能実習生を受け入れる窓口として、県社会福祉センター内に「ふくい外国人介護職員支援センター」を設立。監理業務に加え、現地の教育機関などと連携して研修を実施。タイ西部にあるバーンガオ高校では、日本語介護コースを新設してもらい、授業の一環で県などが実施する日本語や介護の研修を受けている。来年三月にタクシン大卒業生も含め十人が来県する予定。

47都道府県プロフィール
2023年7月～2023年12月

静岡県

外国人の技能実習制度見直し 別企業に移る転籍の条件も焦点に

2023/12/31

政府の有識者会議は先月、人権侵害の指摘もある技能実習制度を廃止し、新たに「育成就労制度」を設けることを柱とした報告書をまとめました。

これまで原則できなかった、別の企業に移る転籍を、1年以上働いた上で一定の技能と日本語の能力があれば同じ分野に限り認めるとしています。

厳しい労働環境を長期間強いることが相次ぐ実習生の失踪の原因になっているなどの批判を踏まえ、外国人が働きやすい環境を整えるねらいがあります。

これに対し自民党の特別委員会は、転籍の条件として当分の間は少なくとも2年間働くことなどを盛り込んだ提言を小泉法務大臣に提出しました。



<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231231/k10014304201000>

介護分野支援へ 静岡県が本腰 モンゴルで面接+ I C T活用 人 材獲得、定着に向け業務改善

2023/11/11

介護分野の人手不足が深刻さを増す中、県が外国人材の獲得や介護事業所の業務改善に本腰を入れている。モンゴルで県内への就労を促す合同面接会を初開催したほか、情報通信技術（I C T）を活用した伴走支援を本格化させる。

合同面接会は9月下旬、県と友好協定を結ぶモンゴル・ドルノゴビ県と首都ウランバートルの2カ所で開催した。外国人材の確保を目指す県内介護事業所4施設が現地を訪れ、モンゴルで介護を学ぶ学生や医療従事者、日本への留学予定者ら200人余りとマッチングを図った。



<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1354264.html>

外国人技能実習生の日本語研修 受講申込数が前年比倍増

2023/7/26

静岡県が主催する外国人技能実習生を対象にした日本語研修の前期講座が6月下旬から、県内3会場で始まっている。本年度は新型コロナウイルス感染症の対策緩和で受講希望者数が急増し、申し込みは前年同期比で約2倍。23年前期の日本語研修は受講申し込みが約100人と前年の53人から伸長し、県は定員超過で40人ほどの申し込みを断ったという。



<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1284933.html>

ミカン選果、職場体験 観光ビザ来日のベトナム人が三ケ日で手伝い

2023/12/1

特産品のミカンの出荷がピークを迎えている浜松市北区三ケ日町で、観光ビザで来日したベトナム人の若者たちが農作業で活躍している。観光ビザの制限で仕事に報酬は出せないが、将来的に日本での就農を考えている若者に繁忙期の農業を体験してもらおうと、市内に拠点を持つ技能実習生監理団体「日和協同組合」が仲介役を担った。（小佐野慧太）

「とてもまじめに働いてくれて本当に助かります」。真剣な表情で選果作業をするレー・クオック・タンさん（20）の仕事ぶりに、ミカン農家の山崎仁也さん（44）は目を細めた。町内では1月中旬から、組合の紹介で5軒の農家がベトナム人男性計10人を受け入れている。



ミカンの選果をするレー・クオック・タンさん（右）＝浜松市北区三ケ日町で

<https://www.chunichi.co.jp/article/815157>

特定技能はどんな制度？ 労働力補うために熟練外国人受け入れ

2023/9/12

特定技能制度で、トラックなどの運転手として外国人労働者を受け入れることが検討されています。どのような制度なのか解説します。
※以下有料記事



ブラジル人ドライバーたちとやり取りするマルシンレッカー運輸の日本人社員（左）。なるべく平易な日本語を使い、意思疎通を図っているという＝静岡県磐田市で2023年7月14日、金志尚撮影

<https://mainichi.jp/articles/20230911/k00/00m/020/265000c>

「お国柄の違い」にどう対応 外国人トラック運転手に賛否も

2023/9/12

深刻な労働力不足に苦しむ運送業界が、外国人材に活路を求め始めた。現行制度のもと、国の動きに先んじる形で外国人の雇用に踏み切った企業もあり、ドライバーを「特定技能」の対象とすることに業界の期待は膨らむ。全国で2番目に多い約3万1000人のブラジル人が暮らす静岡県。磐田市の運送会社「マルシンレッカー運輸」を訪ねると、カタカナの注意書きが壁に張られていた。同社は5年ほど前から日系を中心にブラジル人の雇用を積極的に進め、今はドライバー50人のうち2割近くの9人を占め、荷物の配送をしている。

現行の制度で外国人がドライバーとして働くには、永住者や日本人の配偶者など「身分に基づく在留資格」が必要だ。同社で働くブラジル人もいずれかの資格がある。入社時に大型免許を持っていない人もいるため、ポルトガル語の通訳がいる自動車学校で取得をサポート。免許があれば、任せる仕事は日本人と基本的に同じだ。貴重な「戦力」になっており、田畑さんは「とても助かっています」と話す。

ブラジル人社員には日本語で日常的な会話ができる人は多い。入社4年目のモレノ・リカルドさん（50）は「分からないときはスマートフォンの翻訳アプリを使います。いざとなれば『どういう意味ですか？』と聞けばいい。日本人は親切です」と笑う。



トラックを運転するマルシンレッカー運輸のブラジル人ドライバー＝静岡県磐田市で2023年7月14日、金志尚撮影

<https://mainichi.jp/articles/20230911/k00/00m/020/262000>

インドネシア農業省、静岡県の満咲牧場を視察 2024年春までに計 6名のインドネシア・特定技能人材が着任予定

～日本農家の労働力不足解消およびインドネシア農業技術の発展を目指す～

2023/12/22

インドネシア農業省は、「2045年に世界の食糧庫となるべく優れた農業人材を育成する」というビジョンを掲げ、高等専門学校7校および職業訓練学校3校から毎年約1,500名の農業人材を輩出しています。PERSOL Global Workforceとの取り組みを通じて、日本の農業・酪農（畜産）事業者のもとではたらきながら、さまざまな経験を通じて日本の高い技術を習得してもらいたい狙いがあります。このたび、インドネシア農業省から、インドネシア人材が実際に着任している農家を確認するとともに、意見交換を実施したいとの希望を受け、4名の人材が着任、今後さらに2名が追加で着任予定の静岡県・満咲牧場の訪問が実現しました。



[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000843.000016451.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000843.000016451.html)